共同研究グループ活動報告（2025 年度）

日中関係史

　2025 年度は、対面とオンライン会議を併用しながら研究会を開催した。研究会の記録はすべて http://chineseovers.jugem.jp/ に掲載している。また、本年は、人文学研究所の叢書刊行に採択され、ただいま鋭意、刊行に向けて校正中である。以下，本年度に開催した研究会活動を箇条書きで記す。

（１）中国人留学生史研究会　第 114 回（2025 年 4 月 19 日）
◎日時：2025 年 4 月 19 日（土）
◎場所：対面（神奈川大学 MM キャンパス 5030 室）＋ zoom 会議
◎報告：
１「同仁会関係者による中国視察」末永惠子（福島県立医科大学看護学部准教授）
２「中国人留学生の日本見学旅行と同仁会」（仮）見城悌治（千葉大学）

（２）中国人留学生史研究会　第 115 回（2025 年 6 月 21 日）
◎日時：2025 年 6 月 21 日（土）
◎場所：対面（東洋大学白山キャンパス 6403 室ー6 号館 4 階）＋ zoom 会議
◎報告：１「広東省の中国人留学生関連資料を読む」孫安石（神奈川大学）
２「内藤久寛の中国人留学生支援―日華学会を事例に」（仮）何琦璠（東北大学博士課程
司会：山本一生（東洋大学）

（３）中国人留学生史研究会　第 116 回（7 月 5 日）
◎日時：2025 年 7 月 5 日（土）
◎場所：対面（神奈川大学 MM キャンパス 5030 室）＋ zoom 会議
◎報告：１「清末中国女子教育と日本」孫長亮（中国・南通大学）
２「清末における中国人女子留日学生のネットワーク――『中国新女界雑誌』の寄稿者を中心に」　金豆（立命館大学、博士４年）
＊コメンテーター　周一川（元日本大学教授）・加藤恭子（近代女性史研究者）

（４）中国人留学生史研究会　第 11７回例会・浙江文化研究工程「清末浙江留日学生群体研究」と共催

◎主催：浙江工商大学東西文明互鑑研究院、浙江工商大学日本研究中心
◎協力：日本・神奈川大学人文学研究所　日中関係史研究班
◎時間：2025 年 8 月 21 日―8 月 23 日
◎主題報告 1　主持人　孫宏云（中山大学）
◎主題報告 2　主持人　孫安石（日本神奈川大学）
◎综合討論及闭幕式 主持人　吕顺长（浙江工商大学）

（５）中国人留学生史研究会・第１１８回例会

◎日時：2025 年 10 月 18 日（土）
◎場所：対面（神奈川大学 MM キャンパス 5030 室）＋ zoom 会議
◎報告：１「浙江工商大学研討会の参加報告」高田幸男・郭夢垚・山本一生・見城悌治
２「浙江工商大学研討会の参加報告―清国海軍留学生の資料紹介」応蘇（千葉大学・浙江工商大学　修士）
３　近況報告―病床で考えたこと　大里浩秋

（６）中国人留学生史研究会・第 119 回例会

◎日時：2025 年 11 月 22 日（土）
◎場所：対面（神奈川大学 MM キャンパス 5030 室）＋ zoom 会議
◎報告：
１「『清議報』に翻訳・掲載された日本語雑誌記事について」古谷創（明治大学大学院、博士課程）
２「東京大学駒場博物館所蔵の藤木文書を読む」（仮）宇野瑞木（専修大学）、高原智史（東京大学大学院、博士課程）

（７）中国人留学生史研究会・第 120 回例会

◎日時：2025 年 12 月 20 日（土）
◎場所：対面（東京大学駒場キャンパス 18 号館 4 階コラボ 4）＋ zoom 会議
◎報告：
１「清末日本教習と女子音楽教育―上海務本女学堂と湖北幼稚園等」 滕東君（成城大学等、非常勤）
２「清末期における中国人留日学生の音楽活動再考」郭君宇（東京芸大、博士課程３年）
３「蕭友梅滞日活動とその背景―新たな蕭友梅像の構築」卓詩穎（東京芸大、博士）
※司会：見城悌治（千葉大学）

（８）中国人留学生史研究会・第 121 回　言語研究センター共催

ワークショップ「東アジア文化交渉を考える」

◎日時：2026 年 1 月 31 日（土）

◎場所：対面（神奈川大学・MM キャンパス　19031 室）＋ zoom 会議

◎報告：

１「清末日本人の北京留学と文化交渉」　　内田慶市（関西大学名誉教授、関西大学・東西学術研究所研究員）

２「明治前期に中国を訪れた漢文学者と上海文人たち」　王宝平（二松学舎大学）

（文責：孫安石）